

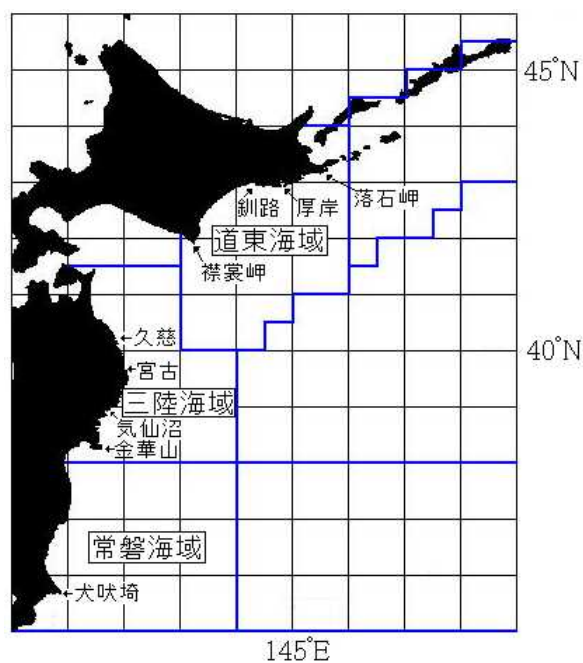
平成30年度 第5回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2018年10月下旬～12月上旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、来遊量は減少し、11月上旬で終漁となる。
- ・三陸海域では、10月下旬は、低位水準だが増加する。
- ・常磐海域では、11月上旬になると、来遊がある。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

平成30年度 第5回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2018年10月下旬から12月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

10月下旬は、道東海域よりも南側を南下する魚群もあり、来遊量は減少する。11月上旬で終漁となる。

(2) 漁場

10月下旬は落石南沖～襟裳岬沖に漁場が形成される。11月上旬は、襟裳岬沖に漁場が残る。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

10月下旬～11月中旬は、来遊量は増加するものの、三陸海域よりも東側を南下する魚群もあり、低位水準である。11月下旬～12月上旬は、来遊量は減少する。

(2) 漁場

10月下旬は三陸北部が漁場となる。11月上旬は、三陸南部まで漁場が広がり、11月上旬～中旬は三陸北部～南部が漁場となる。11月下旬～12月上旬は、三陸南部が漁場となる

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月上旬は、低位水準ではあるが来遊がある。11月中旬～下旬は、来遊量は増加するものの低位水準である。12月上旬から、来遊量は減少する。

(2) 漁場

11月上旬は、常磐北部に漁場ができる可能性がある。11月中旬～12月上旬は常磐北部が漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位減少	低位減少			
	漁 場	落石～襟裳岬沖	襟裳岬沖			
三陸海域	来遊量					
	動向	低位増加	低位増加	低位増加	低位減少	低位減少
	漁 場	北部	北部～南部	北部～南部	南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向		低位増加	低位増加	低位増加	低位減少
	漁 場		北部	北部	北部	北部

3. 漁況の経過概要（10月上旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年並の低位水準であった。道東海域よりも東～南東側の花咲港南南東沖～落石南南東沖における来遊量の水準は、前年を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、期後半に減少した。

(2) 漁場

道東海域から道東海域の南東側の、落石南南東70～180海里が主漁場であった。落石南南東70～180海里（15～18℃）では、大型船多数と小型船多数操業。大型船で最高120トン、平均45トン漁獲した。

(3) 魚体

道東海域、道東海域の南東側ともに体長29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は110～130g台が主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前年を下回った。

(2) 漁場

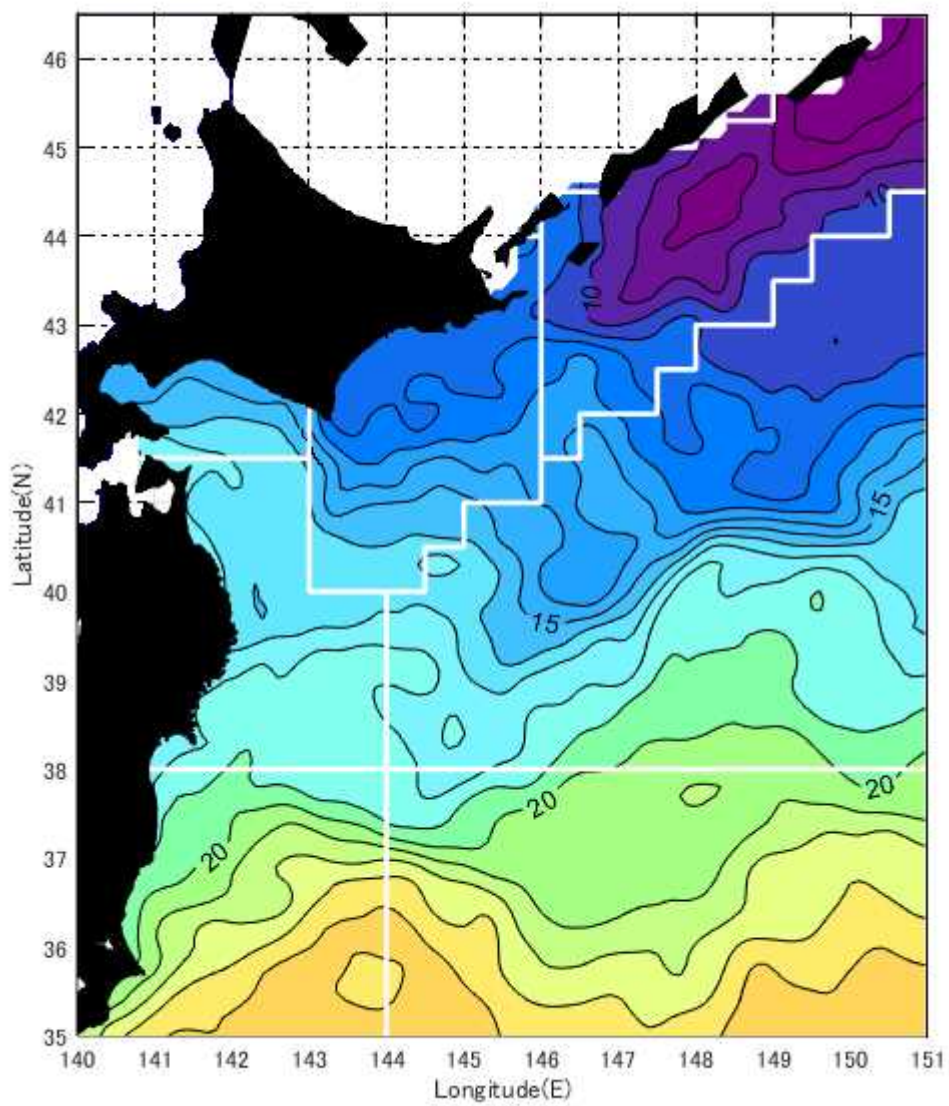
三陸海域では、漁場は形成されなかった。なお、三陸海域より東側の宮古東北東120～140海里（17～18℃）では、10日夜に大型船12隻操業し、最高120トン、平均60トン漁獲した。

(3) 魚体

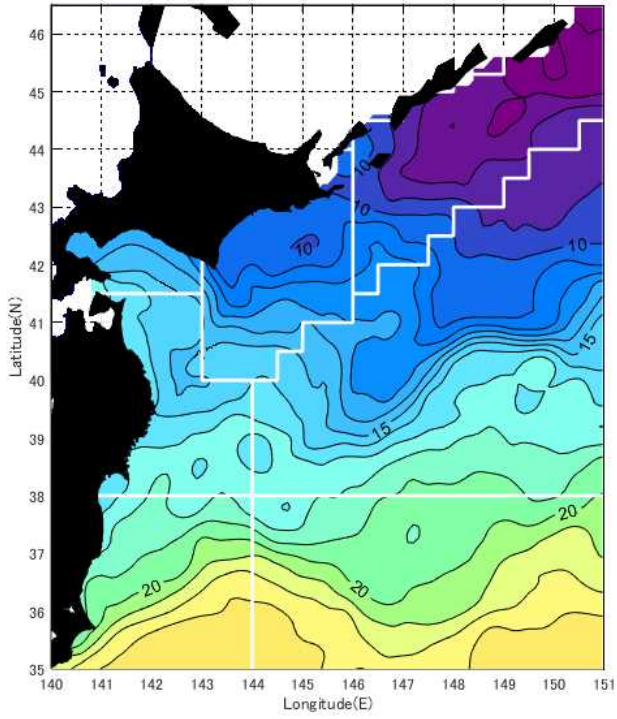
三陸海域より東側では、体長29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は100～130g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

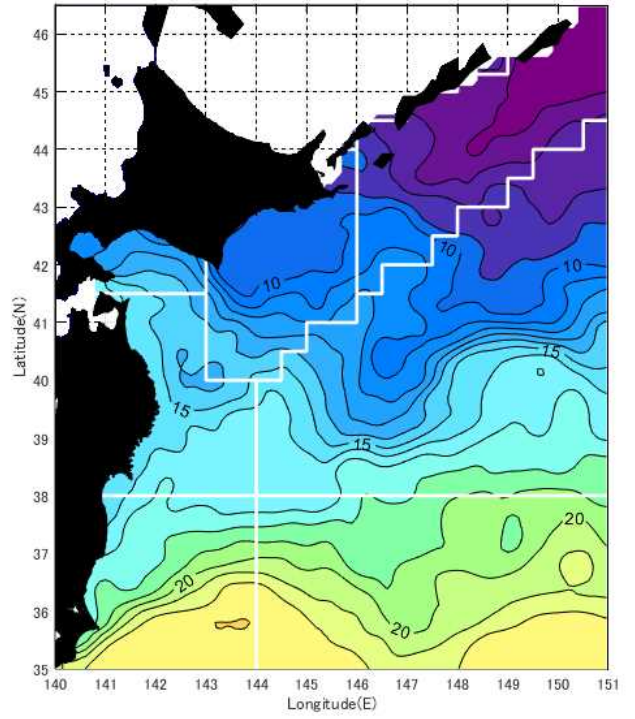
10月下旬予測表面水温分布図



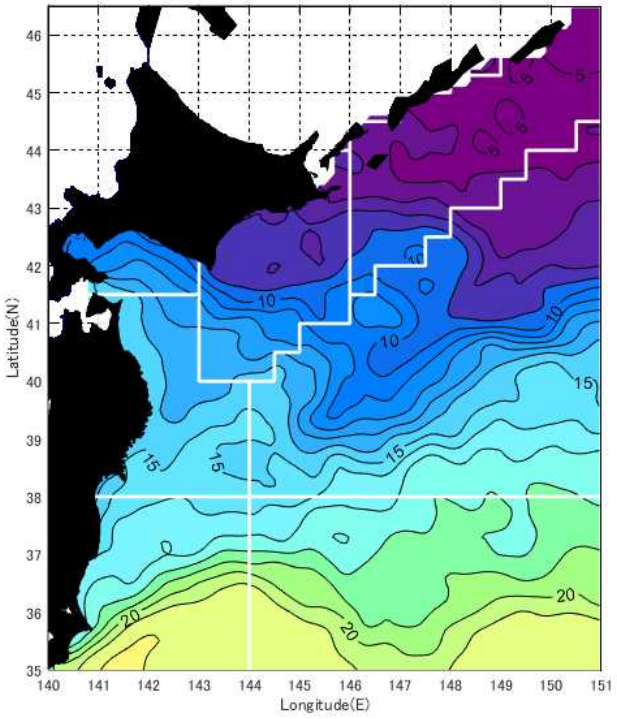
11月上旬予測表面水温分布図



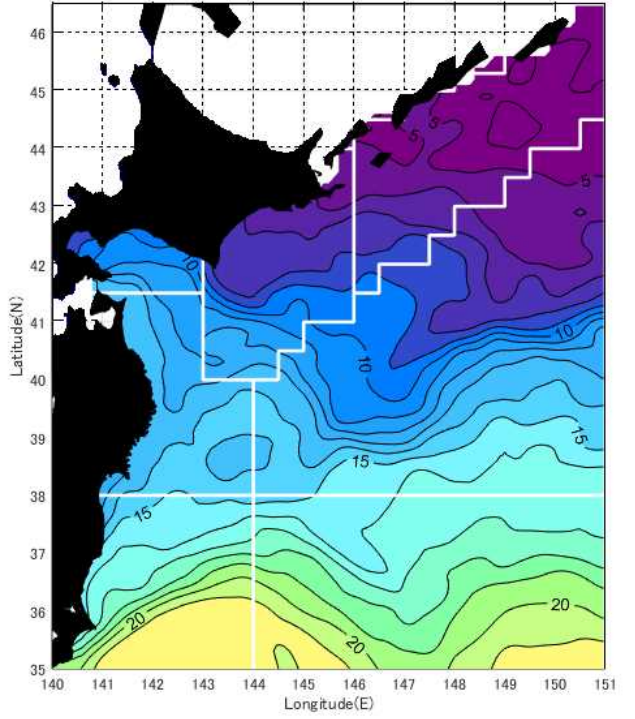
11月中旬予測表面水温分布図



11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--